

38-Link

ワイヤレスアダプター スタートガイド

使用目的

38-Link ワイヤレスアダプターは、既存の Evident 超音波厚さ計 38DL PLUS から Bluetooth やワイヤレス LAN (WLAN) 経由でデータを送受信できるように設計されています。38-Link ワイヤレスアダプターを使用目的以外の用途に使用しないでください。

ユーザーズマニュアル

本製品の使用前に、*超音波厚さ計 38DL PLUS のユーザーズマニュアル (P/N: DMTA-10004-01JA)* をお読みください。ユーザーズマニュアルには、本製品を安全かつ効果的に使用するために重要な情報が記載されています。ユーザーズマニュアルは、いつでも参照できるよう安全な場所に保管してください。

安全性に関する警告表示



危険

この記号は、正しく実行または守られなければ死亡あるいは人体に深刻な損傷を負わせる切迫した危険な状況をもたらす可能性がある手順や手続きであることを示しています。



警告

この記号は、正しく実行または守られなければ死亡あるいは人体に深刻な損傷を負わせる可能性がある手順や手続きであることを示しています。



注意

この記号は、正しく実行または守られなければ中程度以下の障害、特に機器の一部あるいは全体の破損、あるいはデータの喪失につながる可能性のある操作手順や手続きなどに注意する必要があることを表しています。

構成部品

38-Link ワイヤレスアダプターシステムの主な構成部品は、厚さ計スタンドアダプターバーとワイヤレスアダプターユニットです。

厚さ計スタンドアダプターバー

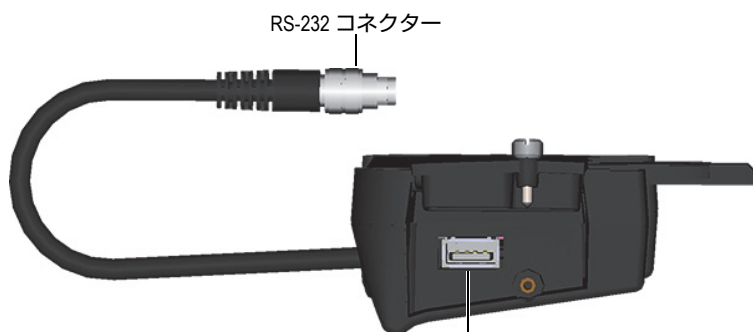
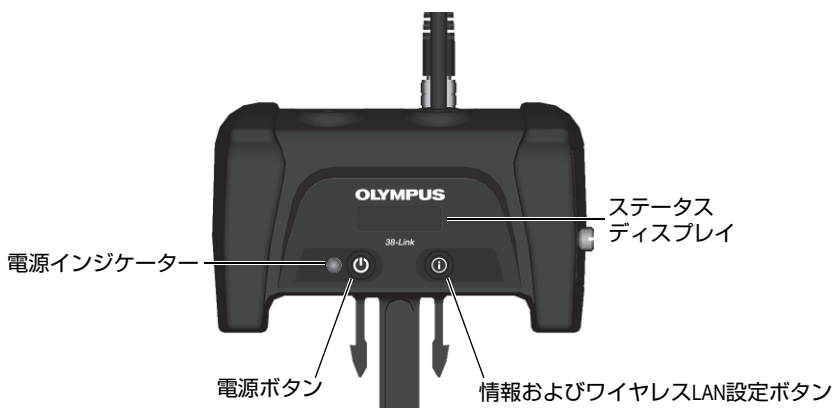


取り付けネジ穴



接続クリップ用スロット

38-Link ワイヤレスアダプターユニット



参考

dongルは地域の仕様によって利用できない可能性があります。

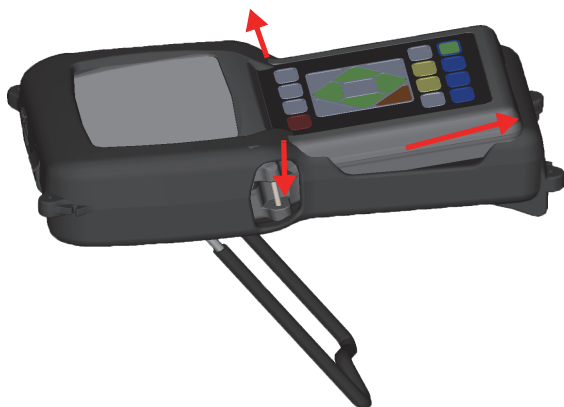
38-Link ワイヤレスアダプターを取り付けるための 38DL PLUS 本体保護ケースの準備

38-Link ワイヤレスアダプターを 38DL PLUS 超音波厚さ計とともに使用する前に、以下の作業を行う必要があります。

- 38DL PLUS超音波厚さ計の本体保護ケースに厚さ計スタンドアダプターバーを取り付けます。
- 38-Link ワイヤレスアダプターを厚さ計スタンドアダプターバーに挿入します。
- 38-Link アダプターの RS-232 コネクタを 38DL PLUS 超音波厚さ計に接続します。

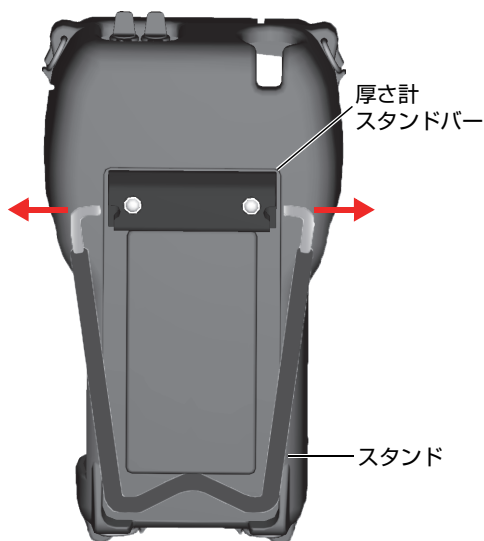
38DL PLUS本体保護ケースを取り外すには

1. 38DL PLUSのスタンドを最大限の位置まで開きます。
2. 本体保護ケース底面部の両隅を持ち、押し下げて38DL PLUS厚さ計から離します。
3. 38DL PLUS厚さ計を本体保護ケースから引き出します。
38DL PLUS厚さ計を完全にスライドさせるには、本体保護ケースの縁を押し広げてください。

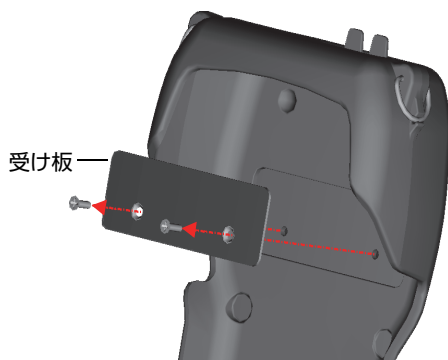


既存の厚さ計スタンドバーを取り外すには

1. スタンドの両側を持ち（厚さ計スタンドバーのそば）、スタンドの両端を広げてスタンドバーから取り外します。

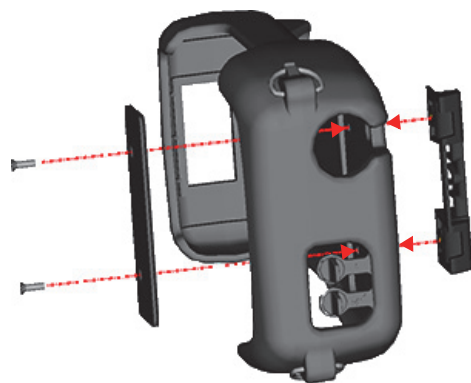


2. 後で使用するためにスタンドを保管しておきます。
3. 本体保護ケースの内側から2本のネジと受け板を取り外して、厚さ計スタンドバーを本体保護ケースから取り外します。



38-Link 厚さ計スタンドアダプターバーを取り付けるには

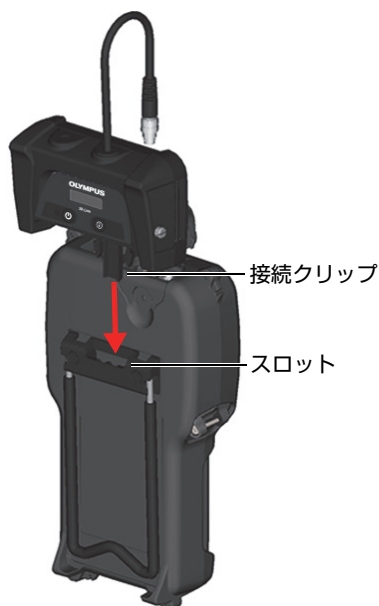
1. 厚さ計スタンドアダプターバーを本体保護ケースの背面にある2つの穴に合わせます。
2. 受け板を本体保護ケースの内側にある2つの穴に合わせます。
3. 受け板を挟んで2つのネジを厚さ計スタンドアダプターバーに取り付けます。
4. ネジをしっかり締めます。



5. スタンドの両端が厚さ計スタンドアダプターバーの穴のそばにくるように置きます。
6. スタンドの両側を持って広げ、厚さ計スタンドアダプターバーの両端に差し込みます。

38-Link アダプターバーユニットを厚さ計スタンドアダプターバーに取り付けるには

1. 38-Link アダプターユニットの接続クリップを厚さ計スタンドアダプターバーのスロットに合わせます。
2. 接続クリップをカチッとかみ合う音がするまでスロットに押し込みます。



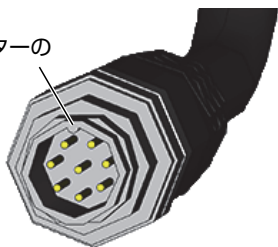
38-Linkアダプターを38DL PLUS厚さ計に接続するには

1. 38DL PLUS厚さ計で、DCコネクターとRS-232コネクターを覆っているゴム製キャップを持ち上げます。

- 38-Link アダプターの RS-232 コネクターのツメを、38DL PLUS 厚さ計の RS-232 ポートにあるノッチに合わせます。
- コネク터를ポートに差し込みます。

ゴム製コネクタカバー

RS-232コネクターの
ツメ



- 38-Link アダプターの正面を自分に向けて、コネクターのスレッドがポートのスレッドにかみ合うまで、RS-232 コネクタースリーブを時計回りに慎重に回します。
- コネクタースリーブを締めます。

参考





RS-232コネクタースリーブを締める際に工具は使用しないでください。





Bluetooth ドングルまたはワイヤレス LAN (WLAN) ドングルを接続するには

- 38-Link アダプターの側面ドアを開けて、USB ポートに Bluetooth ドングルまたは WLAN ドングルを差し込みます。



38DL PLUS 厚さ計を Bluetooth または WLAN 通信に構成するには




- ON/OFFキー () を押して、38DL PLUS超音波厚さ計の電源をオンにします。
- SETUP MENU キー () を押して、設定メニューを開きます。
- 下向き矢印キー () を押して COMM を強調表示し、ENTER キー () を押して COMM 設定メニューを表示します。

4. 下向き矢印キー () を押して CONNECTION TYPE を強調表示し、右向き矢印キー () を押して接続タイプを RS-232 に変更します。
5. 下向き矢印キー () を押して RS-232 DEVICE を強調表示し、右向き矢印キー () を押して接続タイプを TERMINAL に変更します。

設定メニュー		通信	
通信プロトコル		MULTI CHAR	
出力形式		F1	
DB TRACKING		<input type="radio"/> オフ	<input type="radio"/> オン
B-スキャン出力		<input type="radio"/> オフ	<input type="radio"/> オン
37DL PLUS OUTPUT		<input type="radio"/> オフ	<input type="radio"/> オン
接続タイプ		RS-232	
RS-232 DEVICE		ターミナル	
通信速度		115200	
継続出力モード		オフ	

←→で選択し、ENTER or ↓.

↓, ←→, ENTER

6. 下向き矢印キー () を押して BAUD RATE を強調表示し、右向き矢印キー () を押し、ボウレートを変更します。
7. MEAS キー () を押して測定画面に戻ります。

38-Link ワイヤレスアダプターの充電

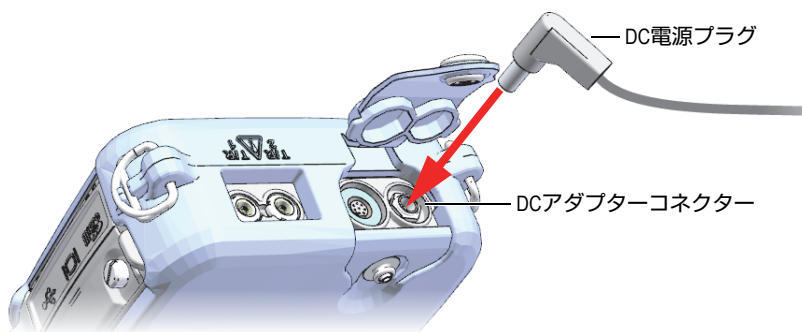
38-Link ワイヤレスアダプターには 3.7 V リチウムポリマー充電式バッテリーが内蔵されており、38DL PLUS 厚さ計への RS-232 接続により充電します。


38-Link バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。ワイヤレスアダプターを初めて使用する前に、38-Link バッテリーに充電する必要があります。

38-Link バッテリーを初めて充電した後は、通常の使用条件下で 38DL PLUS 厚さ計への接続を介して、十分な充電レベルに維持してください。38-Link アダプターを長期間にわたって 38DL PLUS 厚さ計から取り外していた場合は、取り付けて 38-Link アダプターの内蔵バッテリーを再充電する必要があります。

38-Link ワイヤレスアダプターバッテリーを初めて充電するには

1. チャージャー / アダプターに接続されている 38DL PLUS 厚さ計の DC 電源プラグを、38DL PLUS 厚さ計の DC アダプターコネクタに接続します。





- 38DL PLUS 厚さ計の ON/OFF キー () を押して電源をオンにします。
38-Link バッテリーの充電が始まるので そのままにしておきます (最大 60 分)。

38-Link ワイヤレスアダプターの使用

参考

38-Link ワイヤレスアダプターの電源をオンにする前に、38DL PLUS 超音波厚さ計の電源をオンにしてください。


38-Link アダプターの電源をオンにするには

- 38DL PLUS 厚さ計の ON/OFF キー () を押して電源をオンにします。
- 38-Link アダプターの電源ボタン () を押してオンにします。

38-Link アダプターの起動シーケンスが完了するまで、38-Link の電源インジケーターが赤色に点灯します。


- 38-Link バッテリーが十分に充電されると電源インジケーターが緑色に点灯し、装置を操作できるようになります。
- バッテリーが十分に充電されていないと電源インジケーターは赤色のままで、ステータスディスプレイに「Battery is low, please wait for charging」というメッセージが表示されます。


38-Link アダプターの電源をオフにするには

- を押します ()。

38-Link アダプターに以下のメッセージが表示されます。

```
To power down, press  
right button long  
To exit, press  
right button short
```

- 情報ボタン () を 5 秒間押しと、38-Link アダプターの電源がオフになります。
または

情報ボタン () をすばやく押すと、38-Link アダプターの電源がオフになります。

参考

38DL PLUS 超音波厚さ計の電源をオフにすると、38-Link アダプターの電源もオフになります。

ワイヤレス LAN (WLAN) への接続


38-Link アダプターの WLAN 接続を実行可能にするには

1. WLAN ドングルを差し込んで 38-Link の電源ボタン () を押します。

電源がオンになると、38-Link のディスプレイに WLAN 接続がないことが表示されます。


```
No Wlan Connection
```

```
Wlan[N] Cloud[N]
```

2. 情報ボタン () を 5 秒間押したままにします。

もう一度ボタンを押したままにするようメッセージが表示されます。

```
To enter Wlan Setup,  
press again 5 sec  
To exit, press and  
release quickly.
```

3. 情報ボタン () をもう一度 5 秒間押したままにします。

設定の進捗に合わせてディスプレイにいくつかのメッセージが表示され、最後に 38-Link アダプターが WLAN に接続する準備ができたことが表示されます。

```
Wlan AP Mode  
Network: Olympus-4  
PW: oly-1982  
http://192.168.0.1
```

この内容は次の通りです。

Network : Evident-xx

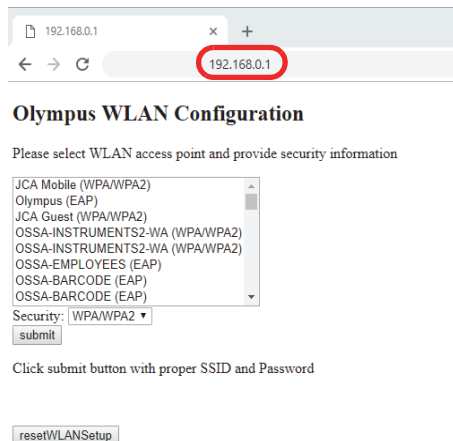
PW : oly-xxxx

http : //192.168.0.1

Windows 10 または Windows 7 を使用して WLAN を設定するには

1. Windows ディスプレイの右下隅にあるネットワークアイコンをクリックします。
2. 使用可能なネットワークのリストで、ネットワーク名 Evident-XX (38-Link の画面に表示されたもの) をクリックします。
3. **接続** をクリックします。
4. パスワード oly-XXXX (38-Link アダプターのネットワークセキュリティキーに表示されたもの) を入力します。

5. **次へ** (Windows 10) または **OK** (Windows 7) をクリックします。
ネットワークリストに **Evident-XX インターネットなし** と表示された後、**セキュリティ保護あり** (Windows 10) または **制限付きアクセス** (Windows 7) と表示されます。
6. ブラウザー (Google Chrome または Mozilla Firefox) を開き、**http://192.168.0.1** と入力します。
Evident WLAN Configuration ページが表示されます。



192.168.0.1

Olympus WLAN Configuration

Please select WLAN access point and provide security information

JCA Mobile (WPA/WPA2)
Olympus (EAP)
JCA Guest (WPA/WPA2)
OSSA-INSTRUMENTS2-WA (WPA/WPA2)
OSSA-INSTRUMENTS2-WA (WPA/WPA2)
OSSA-EMPLOYEES (EAP)
OSSA-BARCODE (EAP)
OSSA-BARCODE (EAP)

Security: WPA/WPA2

submit

Click submit button with proper SSID and Password

resetWLANSetup

7. リストから目的のネットワークを選択します。
目的のネットワークがリスト内に表示されない場合は、以下のようにします。
 - a) リストをスクロールダウンし、**other network** を選択します。
 - b) **SSID**と**password**を入力します。
8. セキュリティを**WPA/WPA2**に設定し、ネットワークパスワードを入力します。
9. **submit**をクリックします。
submit ボタンの下に次のメッセージが表示されます。
WLAN configuration complete. SSID and password have been saved.

参考

Evident では SSID とパスワードを検証できません。ご使用の機器を再起動してもワイヤレスネットワークに接続できない場合は、入力した SSID またはパスワードが誤っている可能性があります。この問題を解決するには、設定プロセスをもう一度試行して、SSID とパスワードが正しく入力されていることを確認してください。

192.168.0.1 x +

← → C | 192.168.0.1

Olympus WLAN Configuration

Please select WLAN access point and provide security information

JCA Mobile (WPA/WPA2)
Olympus (EAP)
JCA Guest (WPA/WPA2)
OSSA-INSTRUMENTS2-WA (WPA/WPA2)
OSSA-INSTRUMENTS2-WA (WPA/WPA2)
OSSA-EMPLOYEES (EAP)
OSSA-BARCODE (EAP)
OSSA-BARCODE (EAP)

Security: WPA/WPA2 ▾
Password:
password1234

submit

WLAN configuration complete. SSID and Password have been saved.

resetWLANSetup

以下のシーケンスが 38-Link アダプターで実行されます。

- ディスプレイがオフになり、ユニットが再起動するまで 38-Link の電源インジケータは赤色に点灯します。
- 電源インジケータが緑色に点灯し、ディスプレイがオンになります。
- 38-Link のディスプレイに **Wlan connecting** というメッセージが表示されます。
- ワイヤレス LAN が接続されると、ディスプレイに **Wlan connected** というメッセージが表示されます。

Evident の Bluetooth アプリケーションへの接続

Evident の Bluetooth アプリケーションへの接続について詳しくは、[EvidentScientific.com](https://www.evidentscientific.com) を参照してください。

Evident Scientific Cloud への接続

Evident Scientific Cloud への接続について詳しくは、[EvidentScientific.com](https://www.evidentscientific.com) を参照してください。既にアカウントを持っている場合は “Log In” をクリックします。持っていない場合は “Register” をクリックして、新たにアカウントを作成します。

バッテリーに関する注意



注意

- 使用済みの本製品のバッテリーは、地方自治体の条例または規則に従って適切に処理してください。
- リチウムイオンバッテリーは、梱包方法、適切な輸送方法などが国連の危険物輸送勧告（国連勧告）に基づき、国際民間航空機関（ICAO）、国際航空運送協会（IATA）、国際海事機関（IMO）、米国運輸省（USDOT）、カナダ運輸省（TC）などが規制を設けています。リチウムイオンバッテリーを輸送する場合は、これらの規制を満たさなければなりません。規制を満足する輸送条件等は、事前にお取引の輸送会社などに確認するようにしてください。

- 米国カリフォルニアのみ対応：

クロム (Cr) バッテリーには過塩素酸物質が含まれているため、特別な取り扱いが必要になる場合があります。 <http://www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate> を参照してください。



警告

損傷したバッテリーは通常のルートでは発送できません。損傷したバッテリーを Evident に発送しないでください。ご不明な点は、お近くの Evident または材料廃棄の専門業者にお問い合わせください。

本製品の廃棄処分

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。ご不明な点は、ご購入先の Evident の販売店へお問い合わせください。

登録商標

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Evident 株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

本マニュアルに記載の社名や製品名はすべて、各所有者の商標または登録商標です。

EVIDENT SCIENTIFIC INC., 48 Woerd Avenue, Waltham, MA 02453, USA
EvidentScientific.com

Printed in the United States of America • Copyright © 2022 by Evident. All rights reserved. 無断複写・複製・転載を禁じます。

英語原版：10-008853-01EN – Rev. 5, September 2022



マニュアル ID: Q7780078



10-008853-01JA

Rev. 4, 2022 年 9 月



50 % 再生繊維を含む
Rolland Hitech50 を使用して印刷していません。